

# すいしよくひん と と ご こ ふ ん ぐ ん し ゅ つ ど 垂飾品 (兔渡護古墳群出土)

●所在地／上野 ●所有者／個人

上野<sup>うえの</sup>の兔渡護古墳群から出土したといわれる垂飾品である。管玉<sup>くだ</sup> 24 個、棗玉<sup>なつめ</sup> 1 個、勾玉<sup>まが</sup> 1 個、丸玉 6 個、小玉 56 個、切子玉 2 個が出土している。材質は水晶やガラス製である。ほかに青銅鏡<sup>じかん</sup>、金銅製や銀銅製耳環<sup>すえき</sup>、須恵器<sup>ちよくとう</sup>、直刀なども出土している。耳環が 15 個も出土していることから、複数の古墳から出土したものを集めたものと考えられる。時期は、古墳時代後期に属すとみられる。

